

シルバー通信

令和4年7月発行
No.87号
(公社)江別市
シルバー人材センター
☎384-3771

令和4年度定時総会が無事終了しました

今年度の定時総会が6月10日(金)午後3時からセレモニーホールはやし野幌にて開催



されました。今年度の定時総会も、昨年同様感染予防のために例年行われていた表彰式や来賓の招致なども実施されない簡素な総会となりました。

開催に当たり当日は、検温やアルコール消毒も行われ、総会へ参加された会員の皆様にはマスクをして2m以上の間隔で離れた席に座っていただくなど感染対策が行われました。

土井睦夫副理事長の開会のことばで始まり、齋藤嘉孝理事長の挨拶があり、

3年目となる第4次中長期計画やコロナ禍により全国的に目標達成が困難となりつつある中、当センターが計画数値を上回っている第2次会員100万人達成計画への取り組みへのお話がありました。

また、来賓へのご案内を控えさせていただきましたが、三好昇江別市長と北海道シルバー人材センター連合会下村英敏会長からメッセージをいただきました。

総会は、理事長が仮議長となり、議長に5条5丁目の藤原明会員を選出して、藤原議長の進行で審議が進められました。

議案第1号令和3年度事業報告と議案第2号令和3年度収支決算については、全会一致で承認されました。

議案第3号の理事及び監事の選任については、任期満了に伴う新たな理事及び監事の選任で、全会一致で決議されました。

全ての議案が全会一致で承認され、最後に元起政雄副理事長の閉会のことばで終わりました。

参加された会員の皆様、委任状を提出いただいた会員の皆様のご協力に感謝申し上げます、無事終了したことについてお礼申し上げます。



【齋藤嘉孝理事長総会あいさつ】

令和4年度の定時総会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日ごろからセンター事業に協力・参加いただいておりますことに、まずもってお礼申し上げます。そして、多くの企業や市民のみなさんからも当センターが高い評価を得ておりますことは、感謝に耐えません。

新型コロナウイルスは、様々な変異を繰り返しながら依然として猛威を振るっており、既に3年目に入った現在においても社会・経済活動に大きな影響を与えています。

ワクチン接種については、既に若年層へと年齢要件が拡大され、さらに高齢者等に対し4回目の実施が見通されている状況にあります。

そのような中であって、今年も総会の開催は、これまで同様、来賓の方々へのご案内も控えさせていただき、表彰式を中止するなど規模を縮小しての開催となりました。

表彰式ができなかったことで、受賞された方への表彰状は事前送付した議案書に同封させていただきました。

3年連続で私から直接お渡しできないことは大変残念でなりません。

表彰を受けられる97名（会員表彰42名、役員表彰1名、地区表彰2名、特別表彰49名、安全就業標語表彰3名）の皆さんには長年に亘って事業活動に精励され、多大な貢献をいただいたご労苦に深甚なる感謝を申し上げます。これからも健康でご活躍いただくことを願っております。

少子高齢化と言われて久しいですが、先日、新聞に14歳以下の子供の数が41年連続して減少したとありました。前年に比べて25万人少ない1465万人となり、総人口に占める割合は11.7%にまで下落してしまいました。

方や、65歳以上の高齢者人口はというと、3640万人、前年比22万人の増で過去最多を更新し、総人口に占める割合は29.1%に増加しました。つまり、高齢者は子供の2.5倍になったということです。これが少子高齢化の実態です。（ちなみに江別市の直近のデータではその差はさらに大きく2.8倍となっています。）

また、子供と高齢者の間の年齢層が生産年齢人口です。15歳以上65歳未満を指しますが、現時点で7556万人、前年比55万人減となりました。

以上のことから確実に言えることは、労働市場を含む社会における高齢者の存在感が益々高まっているということです。

したがって、就業等を通じて高齢者の福祉の増進に寄与するシルバー人材センターの役割と期待は益々大きなものとなっているのは自明といえるでしょう。

本日、ご審議いただく令和4年度の総会議案ですが、令和3年度の事業報告、収支決算及び理事・監事の選任の議決をお願いするほか、令和4年度の事業計画及び予算等を報告しますのでよろしくご審議いただき、ご承認いただきますようお願いいたします。

そして令和4年度は、第4次となる新たな中長期計画の3年次目の年でもあります。

最重点項目であります第2次会員100万人達成計画では、コロナ禍において全国的に目標達成が困難な状況にありますことから、数値目標の見直しを迫られております。ただ、江別市においては依然として増加傾向が維持されており、これまでの計画数値を既に上回



っておりますが、引き続き増強策を実施しつつ退会抑制に努力してまいります。

そのほか、就業機会の拡大、安全就業及び適正就業の推進、そして運営基盤の強化の各項目につきましても引き続き積極的に取り進めてまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

当センターは、国及び江別市からご支援をいただく中で安定した経営が行われておりますことから、今後とも地域ニーズの把握や掘り起こしに積極的に取り組み、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献していくことが求められています。

会員の皆さんにおいては、既に就業が本格化する季節となっておりますが、今まで通り3密を避けるべくマスク着用や手洗い・咳エチケット等の励行に努めながら、シルバー事業に関わっていただきますよう、よろしく願いいたします。

最後になりますが、会員の皆さんが健康でいきいきとしてシルバー人材センターで活躍されることをご祈念申し上げまして、総会の挨拶といたします。

【三好昇江別市長からのメッセージ】



令和4年度江別市シルバー人材センター定時総会の開催、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃から市政の各般にわたり、深いご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、地域高齢者の就業環境の改善や生きがいの創出、社会参加の推進など、高齢者福祉の向上にご尽力されていることに対し、敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

さて、貴センターでは、「自主・自立、協働・共助」の基本理念のもと、高齢者の買い物等を支援する「高齢者サポート事業」など、地域に根差した取組みを積極的に推進されているほか、ボランティア会員制度を活用した環境美化活動などにも取り組まれております。

こうした活動は、サポートが必要な方々の支えになっているのみならず、高齢者の方々が生涯現役として活躍でき、地域に喜ばれ親しまれる場としても、大きな役割を担っていただいているところであり、会員数も年々増加しているとお聞きしております。

今後におきましても、少子高齢化の急速な進展により、将来の社会を支える労働力人口の大幅な減少が懸念されておりますことから、地域社会をさらに活性化していくためには、会員の皆様に、長年培った豊富な知識や経験を生かし、社会を支える一員として、永くご活躍を続けていただくことが期待されます。

市といたしましても、より一層支援してまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、現在、感染力の強いオミクロン株、BA-2の影響により、新型コロナウイルスの感染拡大が依然として続いております。3密を避ける、マスクの励行などの基本的な感染症対策のほか、重症化予防の観点から、ワクチン接種が極めて重要であるとの考えのもと、引き続き対応を進めてまいります。

結びになりますが、江別市シルバー人材センターのさらなるご発展と皆様のご健勝、今後ますますのご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

.....

理事会で新役員が決まりました

6月10日の定時総会終了後の理事会で理事長、副理事長、常務理事の三役が決まりましたので、紹介します。

今年度が改選期に当たることから総会で新任3名を含む理事監事15名が選任され、その中から齋木雅信理事長(新任)、土井睦夫副理事長(再任)、元起政雄副理事長(再任)、湯藤維之常務理事(新任)が選ばれました。

齋木雅信理事長は、4期8年にわたり常務理事兼事務局長を務められ、理事長となりました。土井睦夫副理事長は、2年前から副理事長・総務部会長に、元起政雄副理事長も、2年前から副理事長・事業部会長に就任されています。湯藤維之(ゆとうつなゆき)常務理事については、この3月に江別市監査委員事務局長を定年退職され、4月からセンターに勤められております。

また、新たに理事になられた山根勇理事については、草刈会員として活躍されており、新任の監事には、江別市経済部次長の渡部学監事が就任されました。

これからの2年間、役員としてよろしくお願い申し上げます。

新役員の皆様は、次のとおりです。

理事長	齋木雅信	副理事長	土井睦夫	副理事長	元起政雄
常務理事	湯藤維之	理事	稲葉津喜美	理事	大塚岩雄
理事	大西憲子	理事	小笠原章子	理事	加藤精二
理事	小池万夫	理事	小林博育	理事	貞廣英昭
理事	山根 勇	監事	林 俊樹	監事	渡部 学

新理事長メッセージ



6月10日の総会後の理事会で新たに理事長に選任された齋木雅信(さいきまさのぶ)です。

歴代理事長は、江別市の元市議会議長、元副市長、元教育長など私とは比べようもない高名な方々で皆さま立派な方々でした。私は、これまで事務局長として8年間お付き合いいただいたその延長で、今までと同様変わらないお付き合いをいただければと思います。

会員の皆さんと仲良く楽しくやっていきたいと考えています。

新入職員紹介



事務局長として新たに湯藤維之(ゆとうつなゆき)(60歳)が配属されたので紹介します。

※自己紹介&今後の抱負

この度、常務理事兼事務局長に選任されました湯藤です。皆様のご指導・ご協力をいただき、微力ではありますが一生懸命頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

7月の安全パトロール終わりました

例年同様安全就業の普及啓発のためにパトロールを7月5日から13日までに6日間実施しました。老人憩の家や野幌公会堂、大麻西地区センターなどの公共施設管理のパトロールも行いましたが、剪定や草刈りのほか、人道歩道橋、江別駅前駐輪場なども訪問させていただきました。現地では、熱中症対策のスポーツドリンクとウェットシートを配布しました。パトロールへのご協力いただいた会員の皆様ありがとうございました。



令和4年度安全標語「危険の芽 絶えず変化し 忍び寄る」

【新しい仲間】

7月1日現在

地域班	氏名	地域班	氏名	地域班	氏名	地域班	氏名
江別2区	新庄 明美	江別4区	山上 和則	野幌2区	和泉 美幸	野幌4区	松原 元廣
"	松下 安子	"	石坂 寿子	"	石岡 弘子	"	齊藤 省三
江別3区	岡本まり子	"	岩本由美子	"	児島 宏	"	佐藤 敏明
"	伊藤 恭司	江別5区	鈴木 強	野幌3区	細川 利幸	大麻1区	秋山 次郎
江別4区	中村マサ子	"	坂本 静	"	三上 彰	"	高井 郁子
江別4区	小笠原和安	野幌1区	岡本 逸	野幌4区	長嶋 順子	"	田附 一枝
						大麻2区	中根 和子
				男 13名	女 12名	計 25名	

7月1日現在の会員数



男性 692名
女性 242名
合計 934名

会員の皆様にはお願いです！！！！

2人以上で同じ作業を行った場合には、緑の日報用紙(履行確認書)を使って下さい。やむを得ず水色の日報用紙を使う場合には、一緒に提出してください。最近、複数で作業したときの就業漏れが発生し、会員及びお客さんに迷惑がかかることが発生していますので宜しくお願いします。



今後の主な予定

- 8月22日(月) 第3回総務部会
- 8月22日(月) 第3回研修委員会
- 9月5日(月) シルバーまつり実行委員会
- 9月7日(水) 第2回安全衛生委員会
- 9月7日(水) 第3回事業部会
- 9月16日(金) 市長・議長予算要望
- 9月21日(水) 地区長副地区長連絡会議
- 9月26日(月) 第3回三役会議
- 10月5日(水) 第2回理事会
- 10月8日(土) シルバー人材センター街頭啓発
- 10月15日(土) シルバーまつり
- 11月8日(火)～11日(金) 秋の安全パトロール
- 11月16日(水) 第4回総務部会
- 11月16日(水) 第4回研修委員会
- 11月21日(月)～22日 会員研修旅行
- 12月7日(水) 第3回安全衛生委員会
- 12月7日(水) 第1回就業調整委員会
- 12月14日(水) 第4回三役会議
- 12月14日(水) 第5回総務部会
- 12月14日(水) 第5回研修委員会
- 12月21日(水) 安全祈願餅つき
- 12月21日(水) 第3回理事会
- 1月18日(水) 公共施設就業希望者説明会
- 1月20日(金) 会員研修会
- 1月20日(金) 新年交流会
- 3月6日(月) 第5回三役会議
- 3月15日(水) 第4回理事会



年に一度は健康診断を受けましょう

無症状でも病気が進行していることもあります。定期的な健康診断を受けることが大切です。

通院しているからと言って全ての病気を診てもらっているわけではありません。健康を守るためにも検診を受け病気を予防しましょう。



編集後記 新型コロナウイルスの感染数が初めて全国で20万人を超えて拡大が止まりません。緊急事態宣言や蔓延防止等措置等の行動制限は、発令されていませんが、オミクロンBA5の感染力が強くて日本中での1日の感染者数が40万人になるのではという専門家の話があるそうです。

3回目のワクチン接種は、若い世代ではかなりブレーキがかかっており、その理由は、圧倒的な無症状にあるようです。重症化率が低いことが唯一の救いですが、高齢者にとっては油断のならない状況で、まだまだ見通しのつかない日々となりました。

昨年同様、今年のお盆もお祭りやお墓参りなどを自粛しなくてはならないかも。また、お盆休みに子供たちや孫たちの顔を見ることは、難しいかもしれません。センターの行事も上半期は、ほとんど実施できない状況でした。

当面続く新型コロナウイルス感染の中で会員の皆さんが無事に過ごされることを願うとともに、皆様のご家族に感染がないことを祈っています。